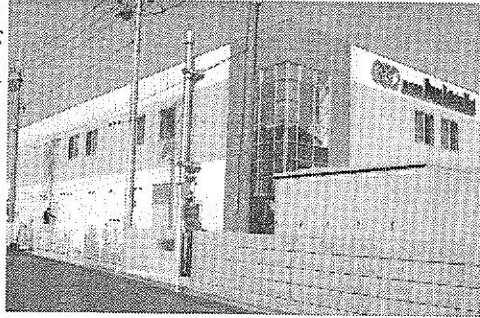


日本カイハツミート相模原PC工場完成、盛大に竣工を祝う



ミートコンパニオングループの(株)日本カイハツミート(本社〓神奈川県相模原市緑区西橋本、阿部昌史社長)は3日、同社創立30周年・新工場竣工式及び商品展示会を取引先等関係者430人招いて祝った。午前11時から本社近くに建設された相模原工場(写真左、緑区橋本台2-2-22)の完成と新工場の新たな出発を祝して亀ヶ池八幡宮の宮司による神事が行われ、阿部社長及び会長と工事関係者を代表して(株)フジタ横浜支店の篠原孝一支店長による玉串奉奠が行われ、式の後には、横浜支店に感謝状が贈呈された。午後1時半からの竣工式典で、阿部社長(写真右)は「新工場建設は施設の老朽化への対応と創立30周年の節目を、当社の第2創業期と捉えて新たなスタートを切るにふさわしいステージを準備したいという思いからだ。現在の本社及び第2、八王子の第3工場の製造基地を新工場に集約させ、限られた資源と人員を集約させ、同時に合理化によるメリットも出したい。この工場はチルド温度帯による食肉製品を毎日受発注から製造、デリバリーする無休の日配のPCセンターである。従って生産機器などは式典が終わるまで第搬入して、4日から本格稼動となる。交通アクセスが良く消費地に近いこの地に決定したが、その分地代も労務費もコストがかかってくる。しかしコストは企業の知恵と努力である程度は低下できる。新工場には、取引先の皆様に私どもの理念を届けるために考えた“知恵と努力”が詰まっている。当社の理念は安さのみを追求した“ものづくり”ではなく、品質、安全・安心でおいしいお肉を良い価格で提供することであり、合わせてHACCP対応設備を随所に導入した。ここに新工場を紹介できるのも取引先を始め、相模原市役所、取引先銀行、多くの工事関係者皆様のおかげである」と創立30年と新工場竣工の感謝とお礼を述べた。工事設計・施工者を代表して(株)フジタ横浜支店の篠原支店長は「昨年9月着工で、6カ月の短期間の工事であったが、高品質な建物でMCグループの基幹工場として末永く利用・発展されること確信する」と述べた。来賓は、もとむら賢太郎衆議院議員や神奈川県議会の佐々木正行議員が祝辞を述べた。次いで阿部徳次会長、植村光一郎常務、小石伸市本部長、葉山泰弘取締役の役員紹介が行われ、りそな銀行の原俊樹CEO執行役員による乾杯の発声で祝宴に入った。式の最後に阿部会長によるお礼の言葉があり、この後、新工場の内覧会と同社が製造し新工場でも製造する食肉製品の商品展示見学会が行われた。